

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：ウパウパハウスノア	種別：認可保育所	
代表者氏名：伊藤 留美子	定員（利用人数）： 60名	
所在地：〒211-0041 川崎市中原区下小田中1-13-14		
TEL：044-750-0520	ホームページ：http://upa2-house.co.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2019年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ウパウパハウス		
職員数	常勤職員：13名	非常勤職員 1名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士 11名	看護師 1名
	管理栄養士 2名	子育て支援員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 1室	調理室 1室
	ほふく室 1室 保育室 4室	事務室 1室

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

寛容なる愛をもって子どもに寄り添う。

## &lt;基本方針&gt;

1. SAFETY 安全を第一とする。
2. TRUST 愛情をもって接し信頼関係を築く。
3. INDEPENDENCE 自主性を重んじ社会性を養う。
4. MANNER 望ましい習慣・態度・日本語を身につける。
5. SENSITIVITY 豊かな感性や創造性を養う。

## ④施設・事業所の特徴的な取組

●認可保育園ウパウパハウスノアは、株式会社ウパウパハウスの経営です。保育園経営に関しては、武蔵中原駅周辺に平成7年から関連保育園である認定保育園の「ウパウパハウスキッズ」（1、2歳児）を運営し、現在、さらに規模を拡充し、「ウパウパハウスベビー」（0、1歳児）、「ウパウパハウスジャンプ」（3～5歳児）の施設3か所を展開しています。株式会社ウパウパハウスの保育園経営・運営のきっかけとして、「ウパウパハウス 岡本助産院」において子どもを見守る目的からスタートしました。助産院としての「保育」に対する考え方をもち、子どもを持つ母親にも優しい保育園であるよう、その流れは地域に定着し、保護者からも定評があります。ウパウパハウスノアは認可保育園として制約の中、同じ考え方で運営を進めています。

●ウパウパハウスノアのある中原区は、発展が著しい武蔵小杉駅前の高層マンション群や、渋谷、新宿への都市圏への通勤、また、武蔵中原から武蔵小杉へは3分足らずと完全な東京通勤圏であり、交通至便で発展している地域です。武蔵中原駅からウパウパハウスノア間は徒歩7分であり、近くに由緒ある大戸神社や大戸小学校があり、駅近くで買い物にも便利な上、繁華街から少し離れた静かな住宅地に位置し、落ち着いた子どもたちが園生活を送れる立地となっています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月29日（契約日）～ 2020年11月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（           年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【3歳児以上に対する外部講師招聘のエクササイズの実施】

●ウパウパハウスノアでは、3歳以上のクラスに対して保育時間内に外部講師を招聘したエクササイズを実施しています。エクササイズでは、音感レッスン（ミュージックアドバンス）、ECCジュニア（英語レッスン）、キッズピラティス（子ども向けヨガ）です。これらは、平成7年から展開しているウパウパハウス保育園の継続プログラムであり、一貫して保護者に好評を得ています。評価調査で見学した「ミュージックアドバンス」では、子どもたちが30分間集中して楽しく過ごしており、子どもたちの将来的音感が育まれる活動が実施されています。

2. 【子ども、働くお母さんにも優しい保育園】

●ウパウパハウスノアの母体は助産院である所以から、子どもに対する保育の考え方、母親の心身の状況等に配慮した保育を行っています。子ども一人ひとりにやさしく接し、母親にもやさしい園であるよう、出産後の家庭や職場での事情、その他の理由で子どもの育児ができない等、母親の困難な状況時に支援ができるようサポート体制を整えています。また、ウパウパハウスノアでは、家庭から持参してもらうのはオムツの補充と散歩後、汗、食事等で汚れた場合の着替えと午睡時利用するバスタオル、毛布のみとし、家庭での負担軽減に配慮しています。食事用エプロンの洗濯や、汚れたオムツの処理も保育園で担い、保育士が行う等、母親にも寄り添った保育園であるよう努めています。

◇改善を求められる点

1. 【職員の質の向上と幹部職員のさらなる育成】

●ウパウパハウスノアの課題は職員のさらなる育成であると把握し、職員の質の向上を目標に掲げています。開園して2年目であり、開設時は法人系列のウパウパハウス保育園から経験値の高い職員をほぼ半数程度の異動を行い、保育の基本を固め、当初から安定した運営を進めており、新たに採用した他園で経験のある職員と一緒に良い意見を取り入れながら運営に生かしたことで一体感が醸成できたものと思われれます。これらをベースに今後は、ウパウパハウスノアの新たな職員体制の構築に向けて、経験値の高い職員等には幹部職員としての資質の育成が必要であり、若い職員には育成の強化を図り、体制の改善と共に、さらなる発展を期待しています。

2. 【3歳以上児の異年齢保育】

●ウパウパハウスノア保育園の3歳以上児のクラスでは異年齢保育を行っています。

異年齢保育実施の理由の1つとして定員に対する子どもの数にあり、5歳児では定員11名に対して現在、5名の在籍であり、クラス活動を十分に行える状況を鑑みる要因と、異年齢保育の利点として、上の子が下の子へ思いやり、下の子が上の子に憧れる関係の構築を育み、保育園での疑似兄弟経験が将来の子どもたちに思いやる心を培えるよう異年齢保育を行っています。現状の5歳児においては、異年齢での関わりの中で社会や集団のルールを理解し、その場にあった立ち振る舞いや人との接し方を学び、成長のステップを登っています。「過去」「現在」「未来」の概念がきちんと理解できるようになる5歳児の日々の保育については、先の見通しを持って動くことが必要となり、これから小学校に上がる上で自ら考えて行動する力をつけていく必要もあるでしょう。現在の関係作り、協同的な学びは残しつつ、生活を主体的に進めていくとする意欲や態度を育む機会や職員の関わりを進めていくよう改善を図っていかれることを期待致します。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：ウパウパハウスノア

<評価に取り組んだ感想>

昨年受審した監査との違いに職員も戸惑っていたが、評価の意見を一人ひとりに伝え、取り組み後の意味を伝え続けたことにより、職員一人ひとりが意識を持って保育をしていく事へつながった。

一人ひとりのやる気、意識向上を今後も続けていく大きなきっかけとなったと感じる。一日一日に慣れることなく、今後も日々、努力していくこと、一人ひとりの役割を大切にしていきたい。

<評価後取り組んだ事として>

1. 職員一人ひとりとの面談
2. 散歩の時、バッタやアリ等、自然のものを見つけたら、園に戻り、図鑑を見たりして思い出を話す。
3. 一年ごとの職員自己評価実施への取り組みを開始

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり